

平成25年度「もったいない」普及啓発事業の取組方向について

1 事業概要

日本に古くからある「もったいない」という言葉や文化を再確認し、消費者のものを大切に作る気持ちを醸成することで、食べ残しのない食生活の実践などごみの削減へ向けた消費者の取組を促進するため、平成23年度に作成した「みんなでめざそう！もったいない名人」テキスト（以下、「もったいないテキスト」という。）を活用し、小学生を対象とした環境学習の場の拡大を目指します。

2 取組内容

（1）環境教育の実施

小学生の環境学習の定着化を目指して、複数の市町の小学校において、モデル的に「もったいないテキスト」を活用した出前授業を実施します。

また、市町、事業者、NPOなどと連携し、ごみ処理施設や工場への社会見学や校外イベントの場で、「もったいないテキスト」を配布するなど、環境学習の場を広げていきます。

（2）「もったいないテキスト」指導者（もったいない名人）の育成

上記の出前授業での講師や環境学習の場での指導者として、食生活改善推進員やNPO団体の構成員などを中心に、「もったいない」文化に根ざしたごみ減量等の啓発を行っていただく「もったいない名人」を育成します。

また、「もったいない名人」の育成に必要なごみ減量化やごみ処理に関する基本的な情報の提供や研修などの支援を行います。

3 進捗状況

（1）環境教育の実施へ向けた調整状況

① 玉城町

- ・ 教育委員会と協議、町内4小学校での出前授業の実施について内諾を得た。
- ・ 4月10日町内校長会で説明後、具体的な内容や実施方法等について学校との調整を進める。
- ・ 教育委員会から役場環境課の協力も得てはとの意見があり、役場環境課とも調整中

② 志摩市

- ・ 教育委員会と協議、市内19小学校のうち2～3校ほどの実施について調整中

- ・ 4月2日市内校長会で説明後、受入意向のある学校を募り学校側との調整を進める。
- ・ 市役所美化衛生課とも連携を図っていくことで調整済。平成25年度から市のごみ分別方法が大きく変わるため、小学生に対して分別ゲームの実施が可能とのこと

③ いなべ市・名張市・津市・亀山市

- ・ 名張市が独自で実施している小学校への出前授業の取組で「もったいないテキスト」を配布してもらうなど連携を図っていくことで調整済
- ・ 津市が独自で実施している「くるりんフード」事業で「もったいないテキスト」を配布してもらうなど連携を図っていくことで調整済
- ・ いなべ市、津市、亀山市と、小学生のごみ処理施設への社会見学時に「もったいないテキスト」を配布してもらうなど連携を図っていくことで調整済

④ 事業所との連携

- ・ 小学校の社会見学等が実施されている県内の複数の事業者の工場で「もったいないテキスト」の配布が可能かどうかについて調整中

⑤ NPO団体等との連携

- ・ 引き続き、県内の環境学習に取り組むNPO団体等と連携して、NPO団体等の活動の中で、「もったいないテキスト」を活用してもらう等を働きかけ

(2) 「もったいない名人」の育成に向けた調整状況

- ・ 食生活改善推進員の役員会で出前授業での連携を依頼済
- ・ 実施校が決まった段階で、その地区から適任者を講師として推薦してもらう。
- ・ 講師に対しごみ減量化やごみ処理に関する基本的な情報の提供や研修を実施
(別添「参考資料 講師用研修資料」参照)

4 スケジュール

項目	平成25年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出前授業の実施	実施校の決定		出前授業の実施				出前授業の実施			翌年度の実施計画		
	実施校との調整											
市町、事業者、NPOと連携した環境学習	協力団体と調整		実施									
もったいない名人の育成	講師の選任		講師の派遣			講師の選任		講師の派遣				
	講師の研修				講師の研修							